

# 函商通信

2013年  
3月15日  
発行元  
館商業高  
名古屋校支

## 『母校に繋がり・絆をつくる』 平成24年度函商同窓会 名古屋支部懇親会開催

平成二十四年十一月十日、今年も、沢田会長の呼びかけで、函館商業名古屋支部同窓会は開催されました。少し肌寒い日となりましたが、名古屋駅近くのサイプレスメキユールホテル名古屋に集いました。顔が合うごとに皆表情が明るくなり世代を超えて「元気がった」と声が響きます。

昨年より多い十二名の参加。サプライズは、函館同窓会本部から佐々木俊克（新二十一回）副会長が遠路出席されました。母校の資料・函館の新聞や五島軒の味やCDまで届けていただきました。本部の活動状況や母校の近況など情報をとっても身近に感じることができました。澤田会長からは、

元気で楽しい会にしたいという挨拶があり、和気あいあいの交流がはじまりま

の米田さんがバリバリ仕事をされる様子など、参加者の一人ひとりが函商時代

出席回数などを超えて大切な時間を過ごすことができました。二十五年も十一月十日



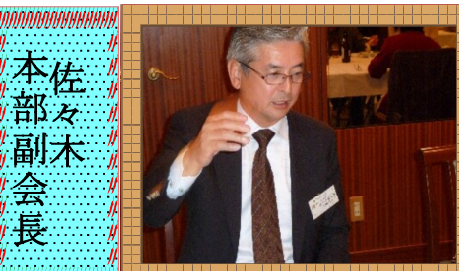
（日）に開催予定です。部のある方には「継続は力なり」の言葉が響きました。是非集い、なつかしい学校時代のことを、友の思い出を思い出し、同窓会へお出かけ下さい。次回も再会を誓いあい笑いながら散会となりました。

- 今回参加者一覧
- 米田綾子（新7） 俵
- 澤田英次郎（新12）
- 小川紀明（新12）
- 熊谷劭（新13）
- 坂野秀夫（新14）
- 池田国昭（新14）
- 小野雅恵（新16） 奥定
- 小林隆男（定新20）
- 向晃良（新22）
- 塩谷美津子（新23） 堤
- 佐々木邦子（新23） 中居
- 佐々木俊克（新21本部）

母校に誇りを！  
絆に感謝を！

した。会計の塩谷さんから会計報告と欠席された方々からの葉書が読まれました。食事を取りながら、最年長

のここと家庭や健康のことなど飛び出し話題が飛び出しました。皆がうなずいたり笑ったりで時間と共に世代や



佐々木 俊克  
本部副会長



澤田 英次郎  
支部長



同期はひとりもいませんが二十年毎に出席しています。何故か函商の匂いがするんです。いつしか応援歌を歌わなくなったの



お世話になりました。家族的で温かくとても良かったです。集まるのが目的ですから「来て良かった」が大切です。それを実感しました。



は寂しい。澤田支部長、会のため動いて下さりありがとうございます。どうぞごさいます。

【米田綾子】



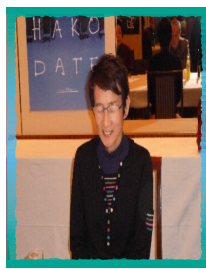
先日は楽しいひと時を過ごしました。佐々木さんは昔、私の職場の後輩でもあり月日の流れを感じました。出会いは縦横のつながりで青春時代に戻れます。多くの方々に参加してほしいと願っています。

【小野雅恵】



案内いただきながら出席できませんでした。退職し余裕ができたので参加します。五稜が丘の朝緑、今は男のこむらさきと歌ったのが懐かしい。

【小林隆男】



今年副会長さんがきて下さり一段と盛り上がりました。なつかしい函館の品をいただき嬉しかったです。同窓会出席は自分の元気な証明かと思っています。函館観光ポスターは部屋に飾りました。

【佐々木邦子】



カンボジアに工場を建てたこと。悠々の大地での食べ物のこと楽しく紹介します。

【熊谷劬】

熊谷先輩からは、絞り染めの財布を出席者全員にプレゼントがありました。



今回は本部から出席いただき顔ぶれや雰囲気を感じていただき大変良かったです。前会長の南部さんや石部さんの出席があれば言うことないんですが。体調の回復を期待しましょう。

【澤田英次郎】

編集後記

平成二十五年三月東京から青森は新幹線で四時間を切りました第十

三回卒大角先生の資料によれば、昭和四十四年、京都・奈良の修学旅行

十月十二日出発で十九日帰函。実に七泊八日、京都まで二日かかる大旅行でした。北海道新幹線が開通しても航空機の時代、中部圏には大きな影響がないと思

いますが、かつての青函連絡船の四時間です。首都圏までこれるのはいはりすごい時代です。便利さを享受しながらも、早すぎて置き去りにしそうな大事なものを失わないように名古屋支部がお役にた

ればと思います。紙面の都合、沢山の近況・コメント等を省略させていただきました。お詫びします。

絵は連絡船が行きかう頃の函館



田辺三重松

(旧十七回)

函館美術館所蔵「夏の函館港」

函商名古屋支部通信発行委員

【新二十三回・塩谷美津子】

【新二十二回・向 晃良】